

# DOYU

あおり

2026 Mar

# 3

vol.296

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F  
TEL/017(752)0171 FAX/017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

## 下北支部 1月例会

### 一人ひとりが主役の会社づくり

～共感・共有・共育が組織を強くする～



◆報告者◆  
**(株)青北建設 代表取締役社長**  
**勝電気工業(株) 代表取締役**  
**附田 久志 氏 (上十三支部)**

(2026/1/28 参加9名)

### ☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

今回の例会への参加で、たくさん学ばせていただきました。今回の報告者である、附田さんの報告内容の中で、「意識が変わると付き合い人が変わる」という報告内容がありました。この内容を伺い「類は友を呼ぶ」という言葉を思い浮かべました。自分の周りにいる人達は、自分の鏡であることから、今一度自分を見つめ直そうと思いました。また、職人さん達の仕事の工程を評価

にする評価票も、大変参考になりました。評価点ではなく金額で表していることが参考となり、今後、仕事をやる上で、これまでの評価点を、今回学ばせて頂いた評価金額として取り入れようと思います。

討論の中で、各社共通で出ていた問題点「人不足」や「後継者問題」を伺い、社内の問題ではなく、地域の問題として考え取り組まなければならないと感じたため、この同友会下北支部を通じ、地域の繁栄を目指していきたいと思います。

記/ (株)トヨタレンタリース青森 店長 寺澤 孝之 氏



## 津軽支部 1月例会

### フリートーク経営懇談会

(2026/1/29 参加16名)

### ☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

フリートーク例会ということで「経営指針」「人材育成」「販路開拓」の3テーマに分かれてグループトークを行いました。

私は1年程前のフリートーク例会でwebページの必要性と補助金のアドバイスをいただき、先日自社のwebページが公開となりました。今回はそこから先の意見をいただきたくて「販路開拓」グループに参加しました。グループトークでは、webページに加え、自社を知ってもらうためのSNSでの伝え方や見せ方など専門家の方も参加されており、かなり具体的な話をする事ができました。

ただ販路開拓して自社が発展する中で周辺地域も活性化するような事までは考えておらず、そのような取り組みをしている企業の話が出た時、自分の視野が狭くなっていることに気づかされました。販路を増やすだけではなく地域にもメリットが出るように自社を改めて見直したいと思います。

記/ (有)平賀浄化槽センター 取締役 棟方 亮 氏



### ▼1/21 上十三支部&女性部会 1月合同例会

参加13名



# 青森支部 1月例会

## 中小企業施策と新年の展望



◆講師◆

青森市 市長 西秀記氏

(2026/1/30 参加 62名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

### 『我が町あおもり』

青森市長を招いての例会は、今回で3回目を迎えました。新年にこれからの青森市の一年間の展望を聞けるととても良い機会となっています。

今回の報告の中で私が最も感じたのは、もともと中小企業の経営者である西秀記市長が考えて、進めていることは絵空事ではなく現実的に一步一步、前に進んでいるということでした。

私たち経営陣は社員教育や、幹部の育成など内部のことが大切だということを痛いほど、わかっています。市長もしかり市政において大切な、市職員の意識改革やコミュニケーションを図り職場の雰囲気から変えていく努力をしているそうです。その内容も具体的にお話されていました。経営者一人ではよい会社は作れないというのは、市政においても同じなんだと感じました。市長一人が良い政策を掲げて、まちは良くなりません。職員が同じ方向を向き、それを感じた市民がまた、同じ方向を向いて初めて、まさに春一番が吹き、桜が咲くようにまちに暖かい未来が見えてくるのではないかと感じました。

そのほか、自分の住んでいるまちの知らなかった歴史や、外から見た青森についてもお話しされていて、故郷について無知だったなあと、そして故郷の良さを再確認し、「我が町あおもり」が大好きになりました。

記/ (有)オクト 常務取締役 鹿内 麻矢氏



## 第6回東北青年経営者フォーラム

in 山形

2026/2/6 開催

青森同友会参加 5名

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

### 『一人の人間として人と会う』

今回のフォーラムは「弱さと志をさらけ出した「絆」で10年後の東北を支える共創のキッカケ創り」を目的とし、相互理解のため自己紹介シートを活用していました。

報告では、何を言っても話を聞かない経営者の下で働いた経験から社員との面談時間を作ることに加え、グループディスカッションを実施していると報告されていました。はじめは成果物を要求しない他愛ない

会話から慣れさせていき、理念に沿った提案であれば採用して社員が求めるものの再現をトップが引っ張りながら経営しているそうです。

討論では「10年後を見据えた課題解決による変化」と「地域との連携に向けた仲間づくり」が未来へ「絆」をつなぐ次世代リーダーの役割であると、まとめました。

今後も経営者としての学びに加え、一人の人間としての仲間づくりが出来るように同友会行事に参加していきたいです。

記/ (株)大坂組 代表取締役副社長 大坂 将史氏

## ▼2/10 2026 新春例会 in 八戸 参加 96名



## 2月理事会報告

於:事務局

2026.2.3(火)

### 1) 年度方針の確認

●青森同友会2025年度重点活動方針

●青森同友会3カ年ビジョン(2023~2025)

### 2) 報告事項

●青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について

①各支部の動き

②全県の動き

③全国・ブロック行事の動き(2025年度)

④中同協幹事会(2023.10.26)より

⑤東北ブロック内での会勢・組織率比較

●経営指針を創る会について

●3ヶ月先行管理の進捗状況について

### 3) 審議・確認事項

●2026新春例会 in 八戸に向けて

●2026 中小企業サミット参加募集について

●中期ビジョン及び26年度重点方針について

●2025年度会勢目標について

●各支部、委員会からの報告

会員数 417名 / 入会 0社 退会 3社

【次回開催日】2026年3月3日(火) 13:30~/事務局